

Catch up **滋賀医大** : **滋賀医大ニュースレター**
第3号

著者	滋賀医科大学
発行年	2008-07-01
URL	http://hdl.handle.net/10422/9095

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2008.07.01 平成 20 年 第 3 号



「iPS 細胞」の万能性を検証するため、京都大学 山中教授らとサルを使った共同研究に着手

H20.06.30

本学の動物生命科学センター鳥居教授が、京都大学山中教授、三菱生命科学研究所等との共同研究により、サル iPS 細胞の樹立と万能性の検証等に着手します。

計画では、山中教授がヒトやマウスで成功した手法を応用して、サルの体細胞を採取し iPS 細胞を作製します。できた iPS 細胞の万能性を検証する方法として iPS キメラ個体を作製し、同時に安全性の確認も行います。さらに、生殖細胞に分化させて受精卵を作製、それをサルの子宮に移植して、子

ルを誕生させます。これを 3 世代まで追跡調査し異常の有無の確認も行う予定です。

iPS 細胞から個体を作製することができれば、ヒトの病気と似た症状を示すモデルサルの開発も大きく前進します。サルはヒトと同じ霊長類であるため、これにより、ヒト疾患の病態解明や診断・治療への応用に多大な貢献ができると考えています。

動物生命科学倫理委員会や動物実験委員会の承認を得た上で、動物福祉と倫理上に十分配慮しながら、研究を進めていきます。



サル iPS 作製グループ
(前列が鳥居教授)

膳所高校と高大連携事業協定を締結

H20.07.01

膳所高等学校の生徒に、医学に関する教育・研究に触れる機会を提供するとともに、基礎医学や医療従事者の使命や働きがい等に関する講義等を実施します。これにより、医学と看護学を志す高校生の育成を行うことが狙いです。

10月から本学で、膳所高校理数科1年生全員と2年生希望者を対象に、「生理学」・「社会医学」・「病理学」・「解剖学」・

「外科学」等の講義及び実習を実施する予定で、高校生に分かりやすく講義します。

7月1日に調印式を行い、馬場学長は、「医学と看護学を身近に感じてもらえるような授業をしたい。」「地域の高校生に興味を持ってもらい、地域医療の担い手を育てる一助になればと思う。」と語りました。



(左) 滋賀医科大学 馬場学長
(右) 膳所高等学校 河原校長

第31回解剖体納骨慰霊法要を挙行

H20.05.31



(上)比叡山での慰霊法要
(下)学生からご遺族へ返骨

5月31日(土)午前10時30分から比叡山延暦寺阿弥陀堂において、ご遺族、ご来賓、しゃくなげ会会員および学生、教職員の約500名が参列し第31回解剖体納骨慰霊法要が厳粛に執り行われ、故人のご冥福をお祈りしました。

今回お祀りした56名の御霊に対し、馬場学長が、故人の御遺志に感謝し、今後とも人々の健康を守るべく、真心のこもった医療を提供し、あるいは研究者として病気の原因や診断、新しい治療の開発に懸命に努力を払っていくと今後の決意を述べられました。続いて、学生代表加藤寿一さんが、今

後とも生命に対する敬意の念を忘れることなく、故人の御遺志に恥じることがない医師となるべく生涯努力しつづけることをご霊前に誓いました。

法要終了後、引き続き文部科学大臣の感謝状がご遺族代表に贈呈されるとともに、学生の手でご遺骨が返還されました。

また、午後からは比叡山横川の大学霊安墓地において、ご遺族、ご来賓、学生等の参列の下に、納骨式が執り行われ、分骨いただいたご遺骨が納骨堂に安置されました。

附属病院の患者給食にブラックバス料理を提供

H20.05.21



ブラックバスのムニエル

附属病院で入院患者さん向けの給食に導入している選択メニューの1つとして、5月21日(水)の昼食に「ブラックバスのムニエル」を提供しました。

今回は入院中の患者さん約200名に提供しました。珍しい食材の料理を口にした患者さんからは、「ふつうの白身魚とわからないくらい、やわらかくておいしかった。」、「思っていたよりクセがなかった。」などの声が聞かれました。

患者給食の調理を担当する栄養治

療部では、琵琶湖の生態系に影響を及ぼす外来魚であるブラックバスを食べて減らそうという動きに注目し、タウリン含有量が豊富で脂肪が少なくヘルシーな魚であることから、メニュー開発に乗り出しました。

教職員や患者さんへの試食を行い、アンケートでも好評であったため、このたび選択メニューの1つに加えることにしました。

今後は、患者さんの反応をみながら毎月1回程度、選択メニューとして提供していく予定です。

平成 20 年度 滋賀医科大学入学式を挙行 新入生 197 名を迎え入れました

H20.04.08

平成 20 年度入学式が、4 月 8 日（火）に本学体育館で挙行され、医学科学生 85 名、看護学科学生 60 名、看護学科編入学生 10 名、大学院生（博士課程）27 名、大学院生（修士課程）15 名の新入生を迎え入れました。

入学式では、馬場学長から告辞があり、「キャンパスに新しい若々

しい活力が加わり、大学が活気溢れることを嬉しく感じております。」「志」を高く持って精進し、「一隅を照らす人」となって信頼される医療人として、あるいは、世界に羽ばたく研究者に成るべく、本学で自分自身を磨いてくれることを期待します。」と激励しました。



197 名の新入生を
迎え入れました

心臓血管外科手術映像中継(ライブデモンストレーション)を実施

H20.04.19

「近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2008」のプログラムのひとつとして、本学附属病院にて心臓血管外科手術映像中継(ライブデモンストレーション)を実施しました。

本学附属病院手術室での浅井教授(心臓血管外科学講座)による手術が、ライブ中継により会場(メ

ルパルク京都)に映し出され、多くの医療関係者の目に触れる機会となりました。

本学附属病院の医療の質の向上はもちろん、各医療関係者のスキルアップや幅広い知識の体得に貢献できるよう今後も努力してまいります。



浅井教授による手術の様子
(附属病院手術室)



ライブ映像・会場(メルパルク
京都)の様子

第33回浜松医科大学との交流会を開催

H20.05.10



サッカー部の激しい攻防

5月10・11日の2日間、浜松医科大学において第33回浜松医科大学との交流会が行われました。

初日はあいにくの雨天となりましたが、体育館や武道館では各クラブが熱戦を展開しました。2日目

には天気も回復し、テニス、サッカー、その他の会場でも熱い戦いが繰り広げられました。

対戦成績は7勝7敗で、昨年に引きつづいて引き分けとなり、通算成績は本学が15勝13敗5引き分けとなりました。

名誉教授称号授与式を執り行いました。

H20.05.12



証状を受け取る吉川元学長

4月23日に開催した教育研究評議会において、次の5名に対し名誉教授の称号を授与することが決定されました。

吉川 隆一 氏（前学長）
 西山 勝夫 氏（前社会医学講座教授）
 野田 洋一 氏（前産科学婦人科学講座教授）
 佐伯 行一 氏（前基礎看護学講座教授）
 田畑 良宏 氏（前臨床看護学講座教授）

5月12日には、本学中会議室において称号授与式を執り行いました。学長からお一人ずつに証状が手渡され、感謝の言葉が述べられました。

附属病院で「看護の日」イベントを開催

H20.05.16

5月12日は看護の日です。本学附属病院でも16日に看護の日イベントを開催しました。

今年は、C病棟6階において、専門・認定看護師による各専門分野の看護を紹介しました。また、日頃なかなか体験できない人工呼吸器体験や、体圧測定、心のストレスチェックなどを実施し、多くの方に参加いただきました。

午後からは「瀬田東ハーモニカクラブ」の皆さんによるコンサート

が正面玄関で開かれました。100名程の患者さんが演奏に聴き入っておられ、中には昔を懐かしんでか涙される患者さんもおられました。

本学附属病院では、これからも患者さんに過ごしやすい環境とより良い看護が提供できるよう努力してまいります。



「瀬田東ハーモニカクラブ」の皆さんによる演奏

「バイオビジネスコンペ JAPAN」で谷教授が「バイオ先端知賞」を受賞

H20.06.03



大阪産業創造館での授賞式の様子

6月3日に大阪産業創造館で開催された「バイオビジネスコンペ JAPAN」において、本学外科学講座の谷徹教授が「マイクロ波による次世代手術支援機器の実用化」のテーマで「バイオ先端知賞」（賞金100万円）を受賞しました。

大阪府や大阪商工会議所が中心となって実施している「バイオビジ

ネスコンペ JAPAN」は、日本初のバイオビジネス分野のコンペであり、バイオ関連分野の科学的根拠の明確な研究成果に基づく技術シーズを基にした「企業への技術移転」「バイオベンチャーの起業、経営」等のビジネスプランを競う大会です。

国立大学附属病院初の 回復期リハビリテーション病棟を開設

H20.06.07

6月7日(土)、8日(日)にC病棟の改修工事の竣工に伴い、病棟移転を行いました。これにあわせて、2C病棟には、国立大学附属病院では初となる回復期リハビリテーション病棟がオープンしました。

これは、家庭復帰や社会復帰をめざしてリハビリテーションを集中的に行う病棟です。滋賀県からの要請や、患者さんの転院等に伴う負担を軽減するため、患者さんにとって十分満足できる効率的なリハビリ環境を整えました。



回復期リハビリテーション
病棟4人室



病院玄関には喫茶
「カフェコート」がオープン

本学独自の「滋賀医科大学奨学基金」を授与

H20.06.11

本学では、「滋賀医科大学奨学基金」による奨学生として、毎年、医学科の2年～6年、看護学科の2年～4年の各学年から成績優秀な者を1名採用し、奨学生として月額5万円を1年間給付することとしています。

このたび、平成20年度の奨学生を以下のとおり決定し、授与式を行いました。

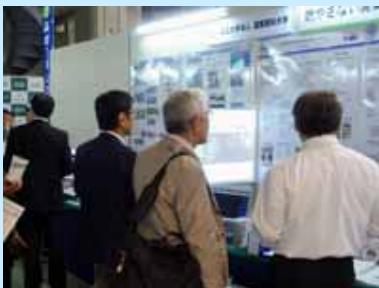
医学科第2学年	大竹 要生 君
看護学科第2学年	水口 藍 君
医学科第3学年	大石 美穂 君
看護学科第3学年	磯野 佳衣 君
医学科第4学年	田中 仁美 君
看護学科第4学年	片上 亜弥 君
医学科第5学年	吉田 尚平 君
医学科第6学年	西野 恭平 君



成績優秀な8名に授与
しました

京都で開催された「産学官連携推進会議」に出展

H20.06.14



来場者の注目を集めました

6月14～15日に京都国際会館で開催された「産学官連携推進会議」に、本学から研究成果の社会への還元を目的に「次世代手術支援システム用マイクロ波手術器具」と「感染性医療廃棄物処理システム」の2テーマの展示を行い、両テーマ共に来場者の注目を浴びました。

公開講座「心を育むための心理学と精神医学」を開催

H20.06.21

6月21日(土)滋賀医科大学臨床講義棟2階 臨床講義室3において、第7回教養講座を開催しました。

コーディネーターの山田尚登教授(精神医学講座)による挨拶に引き続き、「子供の問題行動の原因を探る」と題して稲垣医員からは、お子さんの近くにいる両親が、子供の言葉に耳を傾け、相談に乗ることの大切さを、「思春期の子どもの悩みとその対応」と題して小西助手からは、思春期の子

どものみならず、人間関係において実践できる人とのより良いコミュニケーションのとり方のコツについて、「子供の眠りと睡眠障害」と題して今井講師(学内)からは、思春期に見られる睡眠障害についての講演を行いました。

当日は、雨天にもかかわらず149名の参加を得、講演終了後は、各演者への質問コーナーを設けました。受講された方々で質問のある方は、それぞれの演者に熱心に質問をされていました。



会場の様子

ホーチミン医科薬科大学との学術交流協定を締結 チャー・ライ病院看護部長が附属病院で研修

H20.06.23



調印式の会場

滋賀医科大学は、6月23日、本学にベトナムのホーチミン医科薬科大学ダン・ヴァン・フック学長らを迎え、本学との大学間学術交流協定を締結しました。

ホーチミン医科薬科大学は、1976年に創設されたベトナム最大の医療系大学で、その研修病院であるチャー・ライ病院と本学とは平成18年12月に学術交流協定を締結し、放射線部・看護部・外科等に研修員、研究者を受け入れ、交流を進めてきました。

ホーチミン医科薬科大学とは、チャー・ライ病院と平行して交流を進めてきましたが、今後、鳥イン

フルエンザをはじめとする共同研究や人的交流の推進が期待されます。

また、あわせて来日したチャー・ライ病院のタイ・ティー・キム・ガ看護部長は、6月25日から3日間、附属病院の看護部において日本の病院管理、看護管理などについての研修を受け、本院の看護について学ばれました。

ベトナムの病院の看護部長が日本で病院管理・看護管理について研修を受けるのは県内では初めてで、国内でもあまり例がありません。



調印後、握手を交わす両学長

藤野看護部長による講義：左
病棟を視察されるガさん：右



平成 20 年 7 月 ~ 9 月の行事予定

- 7月 4日 関連病院長会議
 7月26日 公開講座「放射線を使った切らずに治すがんの治療」
 7月27日 公開講座「小児アレルギー夏期ゼミナール」
 7月31日 医学科オープンキャンパス
 8月21日 看護学科オープンキャンパス

大学概要



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

所在地：

〒520-2192
 滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：

1974年10月1日

活動内容：

教育・研究・診療

役員：

学長	馬場忠雄
理事（教育等）	服部隆則
理事（医療等）	柏木厚典
理事（経営等）	村山典久
理事（総務等）	脇坂信夫



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2011 FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成20年4月～平成20年6月)

教育関係

H20.6.11	京都	第48回滋賀医科大学管弦楽団定期演奏会
H20.6.10	読売	市民の健康と栄養を考える会の受講者募集
H20.5.18	京都	根付く勤務医どう確保 滋賀医大が新事業
H20.4.30	朝日	朝日レガッタ3日開幕 打倒実業団狙う大学勢

研究関係

H20.7.3	読売	サマータイム制度 健康への調査必要(大川特任教授)
H20.6.30	日経	iPS、万能性を検証 京大山中教授と滋賀医大 サルで研究
H20.6.25	日経産業新聞	サルの未成熟卵 体外成熟に成功
H20.5.10	毎日	眠育すなわち睡眠教育
H20.5.9	京都	立石科技振興財団 本年度の助成研究40件発表
H20.4.21	日経	尿の微量物質で病気の発症探る
H20.4.15	読売	警報装置からワザビの刺激臭 今井助教が実証実験
H20.4.11	滋賀報知	聴覚障害者向けにわさびの火災報知器を臨床実験
H20.4.2	朝日	受動喫煙、糖尿病リスク8割増 厚労省調査(上島教授)
H20.4.1	読売	動脈硬化予防に「魚弁当」実験(柏木教授)

病院関係

H20.6.30	産経	糖尿病といわれたら 症状がなくても受診を
H20.6.24	京都	高血圧をもたらす不眠
H20.6.10	京都	睡眠ライフのために
H20.5.30	京都	不妊と向き合う 認定看護師
H20.5.22	各紙(7紙)	ブラックバスのムニエル登場
H20.5.13	京都	看護師の仕事内容など紹介
H20.5.4	読売	不妊治療の実績のアンケート結果
H20.4.6	読売	主な施設の心臓外科手術-滋賀医大 浅井教授に聞く

社会連携関係

H20.7.2	各紙(2紙)	滋賀医科大と膳所高協定_医師めざす高校生育成
H20.7.1	京都	滋賀医大などが睡眠学基礎講座
H20.6.11	京都	高齢者栄養管理や慢性疾患予防講座
H20.5.27	読売	滋賀医科大学第7回教養講座
H20.4.7	滋賀報知	「NPO 法人滋賀いのちの電話」設立総会 代表に大川・滋賀医大教授

その他

H20.6.26	京都	越の看護部長が研修 滋賀医大病院 技術や知識習得へ
H20.4.11	京都	硫化水素自殺 後絶たず(山本講師コメント)
H20.4.8	読売	滋賀医大に初 太陽光発電パネル